

院長室

楠岡英雄

【2014 年度研究発表業績】

A-0

Uchiyama S, Shinohara Y, Katayama Y, Yamaguchi T, Handa S, Matsuoka K, Ohashi Y, Tanahashi N, Yamamoto H, Genka C, Kitagawa Y, Kusuoka H, Nishimaru K, Tsushima M, Koretsune Y, Sawada T, Hamada C, for the CSPS 2 group. Benefit of Cilostazol in patients with high risk of bleeding: Subanalysis of Cilostazol Stroke Prevention Study 2. Cerebrovasc Dis 2014; 37(4):296-303 (2014 年 6 月)

Joki N, Hase H, Kawano Y, Nakamura S, Nakajima K, Hatta T, Nishimura S, Moroi M, Nakagawa S, Kasai T, Kusuoka H, Takeishi Y, Momose M, Takehana K, Nanasato M, Yoda Y, Nishina H, Matsumoto N, Nishimura T. Myocardial perfusion imaging for predicting cardiac events in Japanese patients with advanced chronic kidney disease: 1-year interim report of the J-ACCESS 3 investigation. Eur J Nucl Med Mol Imaging 2014; 41(9):1701-9 (2014 年 9 月)

A-2

楠岡英雄：遺伝子型（ジェノタイピング）検定用DNAチップに関する臨床評価、「テーラーメイド医療用診断機器分野：DNAチップ開発ガイドライン解説書」、pp.40-42、経済産業省・産業技術総合研究所、東京、2014年12月

楠岡英雄、秋山英雄：遺伝子発現解析用DNAチップに関する臨床評価、「テーラーメイド医療用診断機器分野：DNAチップ開発ガイドライン解説書」、pp.44-46、経済産業省・産業技術総合研究所、東京、2014年12月

A-3

若井修治、山本学、楠岡英雄：治験関連文書における電磁的記録の活用における統一書式のファイル名称について、臨床評価 42(1)：127-131、2014 年 7 月

A-4

楠岡英雄：臨床研究・治験活性化 5 か年計画 2012・アクションプラン、薬理と治療 42(5):328-330、2014 年 5 月

楠岡英雄：大阪地域治験ネットワーク、大阪医薬品協会会報 786:39-48、2014 年 7 月

西田博毅、井上裕之、安村かおり、古川哲生、篠内和也、坂口大起、三浦浩之、宮崎宏一、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、是恒之宏、池田善彦：巨細胞心筋炎にステロイド単独療法が効を奏した一症例、Osaka Heart Club 38(5):6-11, 2014年11月

A-5

大原信、石川澄、梅里良正、岸真司、楠岡英雄、小枝伸行、小塚和人、土屋文人、樋口由布子、松村 泰志：病院情報システムに伴い発生したインシデントとその具体的対策、医療情報学 34(Suppl.):58-59、2014年11月

横井英人、澤智博、楠岡英雄、平井正明、橋詰明英、岡田美保子：医療現場からみた医療ソフトウェア規制、医療情報学 34(Suppl.):78-79、2014年11月

A-6

楠岡英雄：銷夏随筆「Research Integrity」、日本病院会雑誌 61(7):782、2014年7月

B-2

Sakaguchi T, Yasumura K, Nishida H, Inoue H, Furukawa T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K, Koide M, Abe H, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y. Novel method to quantify the degree of fluid accumulation and its prognostic implication in patients with acute decompensated heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago USA, 2014年11月

Abe H, Masuda K, Asanuma T, Koriyama H, Koretsune Y, Kusuoka H, Nakatani S. Quantitative characteristics of left ventricular vortex flow in the short and long axis views by high frame rate echocardiographic particle image velocimetry. American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago USA, 2014年11月

B-3

楠岡英雄：臨床研究に係わる規制の動向：一関係者の菅見、第14回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松、浜松市、2014年10月

楠岡英雄：医療現場からみた医療ソフトウェア規制－医療機器ソフトウェア規制の概要、第34回医療情報学連合大会、千葉市、2014年11月

楠岡英雄：シンポジウム「改正研究倫理指針に、医療機関・研究者はどのように向き合うべきか」臨床研究における既存指針との相違点、第35回日本臨床薬理学会学術総会、松山市、2014年12月

楠岡英雄：シンポジウム「国際的な質の高い臨床研究支援を目指した CRC 養成・スキルアッププログラムの標準化」CRC 養成カリキュラムの標準化、第 35 回日本臨床薬理学会学術総会、松山市、2014 年 12 月

楠岡英雄：シンポジウム「臨床研究に係る制度と広告のあり方の見直し」臨床研究に係る法的規制の受け止め方、レギュラトリーサイエンス学会、東京、2014 年 12 月

楠岡英雄：シンポジウム「これからの倫理審査委員会を考える」臨床研究倫理審査委員会の認定制度、日本臨床試験学会第 6 回学術集会総会、東京、2015 年 2 月

B-4

Sakaguchi T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K, Koide M, Abe H, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y. Transtubular potassium gradient (TTKG) as a surrogate for monitoring aldosterone bioactivity in patients with acute decompensated heart failure. 日本心不全学会、東京、2014 年 10 月

石山薫、森下典子、笹山洋子、上野智子、辻本有希恵、松尾友香、柚本育世、小森弘未、是恒之宏、楠岡英雄：治験のスピード UP はどこまで図れたか？～ベンチマーク、8 年間の推移からの検証～、第 14 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議、浜松、2014 年 10 月

松尾友香、笹山洋子、森田知子、上野智子、中多泉、森下典子、是恒之宏、楠岡英雄：薬剤科と臨床研究推進室の共同による治験薬管理体制の改善に向けた取り組みー臨床研究推進室からの報告ー、第 68 回国立病院総合医学会、横浜、2014 年 11 月

辻本有希恵、石山薫、上野智子、森下典子、笹山洋子、柚本育世、松尾友香、阪崎志帆、田所知美、是恒之宏、多和昭雄、楠岡英雄：研究者主導臨床研究における同意書保管の現状について、第 35 回日本臨床薬理学会学術総会、松山、2014 年 12 月

B-6

篠内和也、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、坂口大起、三浦弘之、宮崎宏二、濱野剛、小出雅雄、廣岡慶治、安村良男、楠岡英雄、安部晴彦、是恒之宏：ステロイドが有効であった難治性冠攣縮性狭心症の一例、第 117 回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2014 年 7 月

宮崎宏一、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、安部晴彦、是恒之宏：エプレレノンに

より著明に左室機能が改善した大動脈弁閉鎖不全症の2例、第117回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2014年7月

西田博毅、井上裕之、安村かおり、古川哲生、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏二、小出雅雄、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、安部晴彦、是恒之宏：ステロイド単独でコントロールし得た巨細胞性心筋炎の一例、第117回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2014年7月

井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、篠内和也、坂口大起、三浦弘之、安部晴彦、濱野 剛、宮崎宏一、小出雅雄、廣岡慶治、安村良男、楠岡英雄、是恒之宏：急性肺水腫を契機に診断に至った褐色細胞腫の一例、第118回日本循環器学会近畿地方会、大阪、2014年11月

B-8

楠岡英雄：臨床研究コーディネーター養成カリキュラムの標準化に関する研究、第10回臨床研究・治験活性化に関する検討会（厚生労働省医政局）、東京、2014年5月

楠岡英雄：治験責任医師／医療機関の長からの期待、国立病院機構平成26年度初級者臨床研究コーディネーター養成研修、東京、2014年5月

楠岡英雄：我が国における臨床研究の方向性、京都府立医科大学特別講義、京都、2014年6月

楠岡英雄：臨床研究の今後のあり方—倫理指針の改訂を見据えて—、日本大学 Clinical Investigator's Conference、東京、2014年6月

楠岡英雄：EBMと臨床研究、大阪大学臨床医工学・情報学スキルアップ講座「医薬品の臨床評価の過程：入門コース」、大阪、2014年8月

楠岡英雄：臨床研究の今後のあり方—倫理指針の改訂等を見据えて—、第46回二季会、大阪、2014年9月

楠岡英雄：国立病院機構の来し方・行く末、平成26年度全国国立病院事務長会研修会、京都、2014年10月

楠岡英雄：日本の臨床研究の倫理規制はどこへ向かうのか、第9回 RecNet 講習会（福岡臨床研究倫理審査委員会ネットワーク）、福岡、2014年10月

楠岡英雄：臨床研究の適正な実施に向けて、日本製薬工業協会メディアフォーラム、東京、2014年10月

楠岡英雄：臨床研究に関わる規制の変化について、平成26年度国立病院機構近畿グループ治験・臨床研究研修会、京都、2014年12月

楠岡英雄：臨床研究に関する規制の今後と研究のあり方、大阪医科大学臨床研究教育研修会、大阪、2015年1月

楠岡英雄：創薬に関連した最近の動向－臨床研究規制の動向、平成26年度創薬推進連絡協議会、大阪、2015年2月

楠岡英雄：臨床研究に関する問題点と今後の展望、平成26年度医療機器の治験・臨床評価等説明会、東京、2015年2月

楠岡英雄：倫理審査委員会の認定制度と要件に関する検討、平成26年度第2回臨床研究・治験活性化協議会、大阪、2015年2月

楠岡英雄：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 Q & A、平成26年度第2回臨床研究・治験活性化協議会、大阪、2015年2月

楠岡英雄：臨床研究コーディネーター養成カリキュラムの標準化に関する研究について、日本医師会平成26年度治験推進地域連絡会議、東京、2015年3月